

## 本学が目指すべき大学教員の理想の年代構成について

京都教育大学は、時代の要請に応じた学校教育のありようを追究する「教育の総合大学」であり、ほぼ全校種、全教科の教員免許に対応した「教育学部(学校教育教員養成課程)」を設置している。「大学院連合教職実践研究科(京都連合教職大学院)」、「特別支援教育特別専攻科」を設け、学部から大学院まで体系的に教員を養成している。上述の体制を維持するには、あらゆる世代の教員による活力ある教育研究が不可欠である。

本学の教育研究の活力を維持し伸ばすために、年齢構成の偏りによる組織の硬直化を避け、新陳代謝を常に維持することの重要性に鑑み、「京都教育大学人事の方針」に則り、大学教員の適正な年代構成の実現を図るものとする。

なお、「目指すべき理想の大学教員の年代構成比率」は、今後の大学運営の方向性や社会情勢等を考慮しつつ、必要に応じて適宜見直しを図るものとする。

【目指すべき理想の大学教員の年代構成比率】

区 分	40 歳 未 満	40 歳～ 59 歳	60 歳 以 上
令和 4 年度末の年代構成	14%	64%	22%
令和 9 年度末の年代構成	24%	51%	25%
目指すべき理想の年代構成	30%	50%	20%

※この表の数値は資料 4 のシミュレーションにより算出